

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年4月17日

計画の名称	2 快適な都市空間の創造及び災害に強い都市公園整備の推進		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	山口県周南市
計画の目標			

「周南市緑の基本計画」における施策の核である都市公園について、憩いの場やスポーツ・レクリエーション機能、防災機能などの都市公園機能の充実化を図り、市民の多様なニーズに対応したオープンスペースの確保を行い、市全域で都市公園としての利用価値を高める。  
 さらに、既存の都市公園を利活用し、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備、更新を推進することで、公園利用における安全性や快適性を向上させ、より質の高いサービスの提供により、都市公園の更なる利用促進を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・周南緑地、永源山公園及び、高水近隣公園のスポーツ施設利用者数を、約55.7万人/年（H22当初）から、56.0万人/年（H26末）に増加する。
- ・災害時に必要な避難地となるオープンスペースを163,750㎡（H22当初）から173,550㎡（H26末）に増加させる。
- ・周南市緑化重点地区内の公園便所施設のバリアフリー化率について、22%（H22当初）から、50%（H26末）への向上を目指す。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考		
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)			
① 周南緑地、永源山公園、高水近隣公園のスポーツ施設の利用者を計測	55.7万人	55.7万人	56.0万人			
② 周南緑地、永源山公園、高水近隣公園の避難地となるオープンスペースを計測	163,750㎡	163,750㎡	173,550㎡			
③ 周南市緑化重点地区内の都市公園便所設置数に対する、バリアフリー化適合便所設置数の整備比率 算定式：整備比率＝バリアフリー化適合便所設置数／便所設置数 【緑化重点地区内の都市公園便所設置数を対象】	22%	50%	50%			
全体事業費	(A+B+C) 2,593 百万円	A 2,471 百万円	B 0 百万円	C 122 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	4.7 %

事後評価

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
周南市において事後評価を実施	計画終了後 公表の方法 周南市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 道路事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-A-1	公園	一般	周南市	直接	周南市	都市公園事業（周南緑地）	公園面積 約49.9ha、園路整備、施設更新	周南市						2,017	
2-A-2	公園	一般	周南市	直接	周南市	都市公園事業（永源山公園）	公園面積 23.60ha、園路整備、施設更新	周南市						150	
2-A-3	公園	一般	周南市	直接	周南市	周南市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	代々木公園他11公園	周南市						170	
2-A-4	公園	一般	周南市	直接	周南市	周南市都市公園施設長寿命化計画策定事業	永源山公園施設長寿命化計画策定	周南市						7	
2-A-5	公園	一般	周南市	直接	周南市	都市公園事業（高水近隣公園）	公園面積 3.8ha、園路・施設整備	周南市						127	
合計													2,471		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-C-1	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	公園施設案内サイン等整備事業	総合・施設案内サイン及びパンフレット整備	周南市						78	
2-C-2	活動支援	一般	周南市	直接	周南市	公園利用促進支援事業	貸出用自転車・ベビーカー・車椅子等	周南市						4	
2-C-3	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	周南緑地管理詰所等改築事業	管理詰所・休憩施設改築整備	周南市						37	
2-C-4	施設整備	一般	周南市	直接	周南市	パーキング整備事業	パーキング整備面積 500㎡	周南市						3	
合計													122		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
2-C-1	公園整備(2-A-1,2-A-2)にあわせ避難場所・避難経路の把握や災害時における誘導等、公園利用者の視点によるサイン及びパンフレットを整備することにより、公園の安全・安心な利便性及び防災性の向上を図る。														
2-C-2	公園整備(2-A-1)にあわせ同園内にある「周南市交通教育センター」での交通安全教育や啓発活動における活動支援をおこなうことで、安全で安心して使用できる公園として利用促進を図る。(自転車等購入) 公園整備(2-A-2)で実施するユニバーサルデザインなどの整備に合わせて、公園利用者へ車椅子やベビーカーを貸し出すことで、安全で安心して使用できる公園として利用促進を図る。(ベビーカー・車椅子等購入)														
2-C-3	公園整備(2-A-1)にあわせ老朽化した公園管理詰所等の改築により、建物の安全性の確保及び管理用資器材の保管・確保により、安心で効率的な緑地管理業務の取り組みを図る。														
2-C-4	公園整備(2-A-2)にあわせ公園隣接地のパーキングスペースを整備することにより、災害時の防災活動に有効活用できるオープンスペースを確保すると共に、各種イベント開催時の利便性を向上させることにより、公園の利用促進を図る。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球場リニューアル等の施設整備の推進により、スポーツ大会開催数やレクリエーションでの利用が増加し、利用者の増加に大幅に寄与した。</li> <li>・高水近隣公園の新規開設、永源山公園の追加供用により、近隣住民の避難場所となるオープンスペースが増加し、防災機能が向上した。</li> <li>・利用者の比較的多い公園のトイレをバリアフリー化することで、利用者が安全・安心、快適に利用できる公園が増加した。</li> </ul>			
	指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	指標① (周南緑地、永源山公園、高水近隣公園のスポーツ施設の利用者数)	56.0 万人	60.0 万人	整備した施設の利活用により、利用者は大幅な増加となった。
	指標② (周南緑地、永源山公園、高水近隣公園の避難地となるオープンスペース面積)	173,550 ㎡	173,550 ㎡	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。
指標③ (バリアフリー化適合便所設置数の整備比率)	50%	50%	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインに配慮した園路整備や老朽化した遊具広場のリニューアルを実施した結果、有料施設だけでなく公園全体の利用者増加につながった。</li> </ul>			

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・今後も引き続き周南緑地、永源山公園の施設整備及び更新を推進し、公園利用における快適性や利便性及び美観の向上に努め、公園の更なる利用促進を図る。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき、総合公園や街区公園の老朽化施設の改築更新を行うことで、誰もが安全・安心に利用できる公園の確保に努める。

計画の名称	2 快適な都市空間の創造及び災害に強い都市公園整備の推進		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	周南市

